

母校の夏

富士登山

昭和 25 年より始まった富士登山。今年度も 7 月 29 日より 2 泊 3 日の日程で実施された。

1 年生希望者 110 名、引率教員 11 名は朝 6 時に岡山駅に集合、新幹線で静岡へ。その後バスで五合目へ。昼食と着替えを済ませた後、14 時登山を開始した。当日は天候にも恵まれ、ハイペースでの登山となり、八合目の太子館には明るいうちに到着した。夕食を済ませ、午前 2 時の出発まで仮眠をとる。八合目以降、多少風はあるものの、雨に降られることもなく、順調に歩を進め、九合目付近でご来光を仰ぐ。しばしその美しさに魅了され、ハッとして各自カメラに収める。6 時には山頂へ到着。日本一を制覇した達成感をかみしめた。6 時半下山を開始。数年前までは班ごとの自由なペースでの下山が許されていたが、世界遺産に登録されたこともあってか、安全を重視し、まとまって下山することになった。



下山後は、富士急ハイランドへ、そして箱根の宿で登山の山塵を清めた。三日目は、彫刻の森美術館、大湧谷を見学。三島駅から新幹線で帰途についた。

修学旅行

平成 26 年度は 7 月 14 ～ 16 日の 2 泊 3 日の日程で実施された。中核をなすのは 2 日目午前中の ACT (朝日高における「総合的な学習の時間」の呼称) で、生徒たちはコースを選択して研修に励む。

国会議事堂・最高裁判所、JAXA 相模原キャンパス、朝日新聞社、宮内庁書陵部などの従来からのコースに加え、今年は JOC トレーニングセンターが新たな研修先として加わった。また、最多数が参加する東大コースにも、インド哲学仏教学や農学部獣医学課程などが加わり、東大だけでも計 12 のコースが設定されて、大変有意義な研修となった。ひとえに卒業生の方々のご協力とお



東京大学分子細胞生物学研究所

骨折りがあって実現したもので、深く感謝の意を表したい。

生徒はこれらの研修先で「本物、かつ「先端」に触れることができる。これぞ朝日高ならではの修学旅行である。

野球部 初の選手宣誓

7 月 14 日 倉敷マスカットスタジアムで行われた夏の高校野球岡山県大会開会式。選手宣誓を行ったのは、朝日高校野球部 3 年市倉大輔主将だ。歴史の長い野球部だが、選手宣誓を行ったのはこれが初。壇上の市倉主将は「今まで積み重ねてきた努力、かけがえのない仲間との絆、支えてくれた全ての人への感謝、僕達を成長させてくれた高校野球への情熱、全てを目の前の一球一球にこめて選手一同全力でプレイすることを誓います」と力強く宣誓した。



試合結果は玉島商業に 3-1 でリードするも 9 回表に 3 点を返され惜しくも敗退したが、選手宣誓の内容にふさわしい全力プレイを見せてくれた。

空手道場解体

(<http://www.asahikou.com/> 《談話室》)

平成 25 年 12 月、空手道場が解体された。

この建物は、六高の校地だった昭和 22 年竣工、当初は今より西にあり、図書閲覧室と通路で結ばれ教官の閲覧室として使われていた。朝日高校校地となった後の昭和 36 年、鳥城高校の給食場※ (現演劇部部室・生徒会室) が建てられることになり、図書館と切り離され東に移された。昭和 41 年頃、調理場を建て増し、軒を張り出してうどん小屋となった。ただしこれは二代目。初代うどん小屋は地藏川沿いにあった。

昭和 48 年頃、鳥城高校給食場が校地南側に移ったので、そのあとが三代目のうどん小屋に、二代目うどん小屋は「部室」となり、長い間空手道場として使用された。近年は老朽化が進んだ上、平成 24 年の強風で建物の一部が損壊し、使用禁止となっていた。空手道部は同窓会館 2 階の教室で稽古をしている。

※鳥城高校は昭和 17 年の創立から平成 9 年まで一中・朝日高校と同じ敷地内にあった。



3 棟並んだ写真 (平成 24 年秋)



空手道部練習風景 (平成 24 年秋)



解体後の風景 (平成 26 年 4 月)